

旭川医大病院ニュース

<https://www.asahikawa-med.ac.jp/>



編集 旭川医科大学病院
広報誌編集委員会委員長
谷野美智枝

旭川医科大学病院臨床遺伝診療部が開設されました

患者さんやご家族の遺伝に関するさまざまなご相談や診療に、より充実した体制で対応するため、「遺伝子診療カウンセリング室」は「臨床遺伝診療部」として、新たにスタートすることとなりました。

臨床遺伝診療部の開設にあたって

病院長 東 信良

皆様、大変お世話になっております。この度、臨床遺伝診療部が旭川医科大学病院に設立されましたことを御報告できることを、病院長として大変嬉しく思います。

遺伝子解析技術の進歩により、多くの遺伝性疾患で遺伝子解析が保険収載され、遺伝学的診断に基づく診療が可能になっています。2026年の診療報酬改定では、遺伝性乳癌卵巣癌症候群の血縁者遺伝子検査が保険診療で行えることとなり、極めて大きな改革となりました。患者さんだけでなく家族も診る遺伝診療の幕開けであり、今後多くの疾患がその対象となるでしょう。

当院はこれまで遺伝カウンセリングを中心に対応してまいりましたが、今後はご本人とご家族をあわせて診療する体制が求められます。解析結果を正確に読み解き、分かりやすく説明し、対応の選択肢を示すには、一部の診療科だけでは成り立ちません。全部門が集い、臨床遺伝学の専門医と協力し、病院を挙げて臨床遺伝診療の発展に取り組みます。

遺伝診療を通じ、北海道の真ん中で道民の皆様のお役に立つことを願っております。ご協力ご支援のほどよろしくお願いいたします。

臨床遺伝診療部 部長 蒔田 芳男

先生方におかれましては、日頃より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。この度、当院の遺伝子診療カウンセリング室は、新たな「臨床遺伝診療部」へと発展的に衣替えいたしました。

近年の遺伝子診断技術の目覚ましい進歩により、患者さんだけではなく、家系内のat riskの方を早期に見出す検査体制が整ってきています。さらに、健診などを含め積極的な予防的介入アプローチも現実のものとなっております。こうした背景から、診断技術の応用と遺伝カウンセリング、フォローアップを統合した「遺伝診療」の重要性はますます高まっています。

当診療部は、院内全ての診療科の参画を得て、先生方が日常診療の中で遺伝学的課題に直面し、対応に苦慮されている患者さん家族を診療することを目的として改組になりました。患者さんのご不安に寄り添う遺伝カウンセリングから、確実な診断、その後のフォローアップに至るまで、当診療部のリソースを広くご活用いただきたく存じます。

地域の患者さんにより質の高い遺伝診療をお届けするため、ぜひ当臨床遺伝診療部を積極的にお役立てください。今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

報告

開設記念講演会を開催しました

2026年9月4日(金)、旭川医科大学病院において「臨床遺伝診療部開設記念講演会」を開催いたしました。

愛知がんセンター研究所長の井本逸勢先生をお招きし、近年目覚ましい進歩を遂げている「がんゲノム医療」をテーマにご講演いただきました。



お知らせ

臨床遺伝診療部受診について

※ 完全予約制となっておりますので、当院地域医療連携室までお電話でお申し込みください。

地域医療連携室：0166-69-3055（平日9:00～16:00）

- ① 予約申込み（地域医療連携室）
- ② 受診日決定
- ③ 初回カウンセリング（相談内容の確認や、家族構成、疾患歴などを伺います）
- ④ 遺伝カウンセリング（本カウンセリング）
- ⑤ 必要に応じて 遺伝学的検査・追加相談

（詳しくは臨床遺伝診療部ホームページにてご確認ください）

臨床遺伝診療部ホームページはこちら

URL: <https://idenshi.jp/>

